

Sample

=====  
英語で自分の言葉が溢れ出すジャーナリング添削レッスン 第1回  
=====

週に1回のチャレンジで、英語がスラスラ出てくるようにトレーニングしましょう。焦らず楽しみながらじっくり進めてください。

だいたい100語程度の英文を作ることを想定していますが、思いつかない時は少なくとも大丈夫です。逆に余裕のあるときは多めに書いてみてください。

そして大切なことは、英文を書いたら、とりあえず口に出してみる。その繰り返しで、「何もやらなかったときの自分」に大きく差をつけてくれるはず。3ヶ月後に自信を持って英語を話している自分の姿を想像しながら、課題に取り組んでみてください。

課題の提出期限は1週間です。X月〇日までにjournaling@slow-english.com宛に作成した英文を送ってください。課題を受け取ってから5営業日以内に添削と音声を送ります。

【課題1】 サンプル 英語で自己紹介をしてください。

いきなり英語が思い浮かばないよ、という方はまず日本語で自己紹介文を考えてみてください。最初は短い文章をいくつか作りましょう。1つの文には1つの情報を入れるくらいの感覚です。

ご注意：以下の例文はあくまでもサンプルです。どんなふうにご自己紹介をしたら良いかわからない方のために作成しましたので、これと全く同じスタイルで書く必要はありません。書きたいことがある方は遠慮なく、自由に書いてくださいね。

例：わたしの名前は阿部恭子です。わたしは夫と犬と一緒に東京に住んでいます。IT企業のマーケティング部で働いています。好きな食べ物はお寿司です。わたしは読書と水泳が大好きです。わたしは旅行も好きです。アメリカとカナダに行ったことがあります。わたしの夢は世界一周をすることです。わたしが英語を学んでいるのは、英語は世界の共通言語なので、英語を通じて世界をよりよく理解できるようになるからです。

Hi, my name is Kyoko Abe. I'm from Japan. I live in Tokyo with my husband and a dog. I work in the marketing department of an IT company. My favorite food is sushi. I like reading books and love to swim. I also like traveling. I have been to the United States and Canada. My dream is to travel around the world. I study English because English is a universal language and with it I can understand the world better. (80単語)

\*\*\*\*\*  
英語を考えたときのヒント：日本語を英語にしたいんだけど、わからない場合ときは、一度、日本語を因数分解してみてください。

例えば、世界の共通言語=universal language という表現がわからなくても、言いたいのは、世界の様々な国でたくさんの人に使われている言語という意味です。そうすると、以下のような表現でも十分に意味は通じるんです。

無理やりピッタリくる単語や表現を探さなくて、いま自分が使えるシンプルな表現で英文を作ってみてください。

many people speak English  
English is spoken by many people  
English is spoken in many different countries  
English is a common language of the world.

\*\*\*\*\*